

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	ブランド産地推進事業(農業)		担当部署	経済建設部 経済局 農林水産課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市農林水産振興補助金交付要綱 「飛び出す」ブランド産地育成事業要綱		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成	16年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期	
(小項目)		0				
施策	3	農業の振興				
基本事業	1	農業経営の安定化とブランド化の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内農協・農業者団体						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	農協・農業者団体、関係機関等と連携しながら生産・流通・販売振興に継続的に取り組み、各品目ごとに生産者の所得を確保していくことで、本市農産物の総合ブランド化を図る。また、市内における産直等を支援することで、小規模農家やブランド品目以外の農産物、加工品等についても販路拡大を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		農産物品目取り組み数	5	5	5	5	5	品目

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	全国に向け確固たる鳴門ブランドを確立するため、①農協と連携した、農水産物のPR ②市内の産直、ブランド化イベント(鳴門らっきよの花祭り・鳴門ウチノ海新鮮市など)への開催支援を行った。れんこん食害対策によるブランド産地の生産振興を図った。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	農産物品目取り組み数	5	5	5	5	5	件
	2	産直・ブランド化イベントへの支援	3	3	3	3	3	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	農産物品目取り組み数		5	5	—	—	—	品目
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		2,150	1,508	2,250	2,250	2,250	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	1,540	1,195	1,900	1,900	1,900	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	610	313	350	350	350	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		652	652	652	652	652	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		2,802	2,160	2,902	2,902	2,902	千円	

【事務事業名：ブランド産地推進事業（農業）】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	全国に向け確固たる鳴門ブランドを確立するため、①農協と連携した、農水産物のPR②市内の産直、ブランド化イベント（鳴門らっきよの花祭り・鳴門ウチノ海新鮮市など）への開催支援を行う。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	廃止した場合は、全国有数の複数品目によるブランド産地の維持発展や優良農地の保全に影響を及ぼす恐れがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 農業の振興 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	農協や、営農意欲の高い生産者グループの主体的な取り組みを支援することで、実需に即した効果的な事業運用が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業対象は適切である。	
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	市内産直に対する支援方法等については、継続性の観点からは効率性向上を図る必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	農業者や農産品加工業者等が取り組む産直を市内において推進し、更なる農業のブランド化を図っていくためには、JA等の基幹的農業者団体をはじめ、市関係部課による協力体制や連携強化による事務事業の効率性向上が必要。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成26年度 ▼ 月未定 ▼			
	どのように改革するのか	鳴門市外・県外での鳴門ブランドのPRについては、毎年、補助金等を活用し、JAや生産者グループが首都圏や京阪神地域などの大消費地において積極的に取り組んでいる。鳴門ウチノ海新鮮市については、生産者が自立し主体的に取り組むことが出来るように、農業振興の観点から行政としての支援方法を検討していく。また、一人でも多くの生産者（農業者）の参加を促していく。			